ISO 9001
ISO14001
全社登録

452−06

(一社)日本塗料工業会登録 http://www.toryo.or.jp/	
登録番号	S08109
放散等級区分表示	F☆☆☆☆

2液形水系変性エポキシ樹脂塗料

水性さびコート

鉛・クロムフリー

神東塗料

「水性さびコート」は、環境に優しく、従来の弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料に匹敵する付着性および防食性を有した２液形水系変性エポキシ樹脂塗料です。

特　　長

■防食性

２液形水系変性エポキシ樹脂塗料で、付着性が高く、防食性が優れています。

■安全性

水性塗料なのでVOCを大幅に低減できます。（VOC　84%減：当社溶剤形２液さび止め塗料比）
また、鉛・クロムなどの有害重金属を含んでいません。

■低臭

主剤、硬化剤ともに非危険物で、臭気が少なく環境に配慮した塗料です。

■旧塗膜適性

水性塗料のため、旧塗膜を侵しにくく、油性塗料、溶剤形塗料※、水性塗料などの既存塗膜の塗り替えが可能です。
※焼付塗料やふっ素樹脂塗料は別途相談ください。

■亜鉛めっき面塗装適性

亜鉛めっき面の上に塗装可能です。
※新設の溶融亜鉛めっき板の場合は、りん酸亜鉛処理等の素地調整が必要です。

■JASS 18 M-111の性能を有しています。

用　　途

■屋内および屋外の一般建築鉄部（鉄面および亜鉛めっき面）

荷　姿　・　色

塗　料　名	荷　　姿			色	備　考
水性さびコート	15kgセット	主剤	9．5Kg	ライトグレー	混合比 主剤：硬化剤 63：37 （重量比）
		硬化剤	5．5Kg		

適　用　上　塗

各種水性上塗塗料（水性スペースエースなど）

基　本　性　能　JIS K 5551 C種1号に準じる

試験項目	試験結果	品　　質	備　　考
容器の中の状態	合　格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になる。	
半硬化乾燥	合　格	半硬化乾燥している。	すき間100μmのフィルムアプリケーター、16時間
塗装作業性	合　格	支障がない。	エアースプレー塗り1回
塗膜の外観	合　格	正常である。	目視
ポットライフ	合　格	規定時間後、使用できる。	5時間後
たるみ性	合　格	たるみがない。	すき間200μm、塗料粘度83±3KU(23℃)
上塗り適合性	合　格	支障がない。	上塗り:水性スペースエース等
耐衝撃性	合　格	割れ及びはがれがない。	デュポン式　300g、500mm
付着性	合　格	分類 1 又は分類 0	2mm、升目25、粘着テープ引き剥がし
耐熱性	合　格	外観が正常である。試験後の付着性試験で分類 2 、分類 1 又は分類 0	160℃、30分 5mm、升目9
サイクル腐食性	合　格	さび、膨れ、割れ及びはがれがない。	60μm、120サイクル、サイクルD
塗膜中の鉛の定量(質量分率%)	合　格	0.06以下	JIS　K　5674附属書A
塗膜中のクロムの定量(質量分率%)	合　格	0.03以下	JIS　K　5674附属書B
屋外暴露耐候性	合　格	さび、膨れ、割れ及びはがれがない。	2年間、下塗2回+水性スペースエース2回

防食性試験結果

	水性さびコート	2液溶剤形変性エポキシ	2液弱溶剤形変性エポキシ	1液水性さび止め
サイクル腐食性 120サイクル				
塩水噴霧試験 500時間				

磨き鋼板　膜厚50μm

塗 装 仕 様 例

工　程	塗　料　名 (希釈剤)	膜厚 (μm/回)	希釈率 (%)	使用量 (kg/㎡/回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	・ごみ、油、汚れを取り除く。 ・さびは、ペーパー・ワイヤーブラシ等で完全に取り除く。特に亜鉛めっき板の場合は白さびを完全に取り除く。 ・旧塗膜の脆弱部は取り除き、活膜は全面目荒しを行う。 ・粉、ほこりは水洗して取り除き、乾燥する。						
下　塗	水性さびコート (水道水)	50※	5～10	0.17～0.20	1～2	1日～ 7日	はけ ローラー
上塗-1	水性スペースエース (水道水)	25	10～20	0.10～0.13	1	3時間～ 7日	はけ ローラー
上塗-2	水性スペースエース (水道水)	25	10～20	0.10～0.13	1	―――	はけ ローラー

※被塗物の状態や形状により、規定の塗布量が塗装できない場合は、塗り回数を増やしてください。

使用可能時間と硬化時間

温　度	5℃	10℃	20℃	30℃
使用可能時間	5時間	5時間	5時間	3時間
指触乾燥	30分	30分	30分	30分
完全硬化	14日	10日	7日	7日

注）塗料が増粘していなくても、使用可能時間を過ぎた塗料混合物は使用しないでください。

ご使用上の注意事項

■水性さびコート塗装時の注意点

1 溶剤系、弱溶剤系塗料と同様、エポキシ樹脂塗料ですので低温時には反応硬化が遅くなります。次工程とのインターバルに注意ください。不具合の原因になります。
2 素地（下地）調整（清掃、脱脂、ケレン等）は、十分行ってください。特に浮き錆などがある場合は早期にさび（フラッシュラスト）が発生する恐れがあります。フラッシュラストが発生した部分は、ペーパーなどで錆を落とし、水性さびコートを再度塗装してください。
3 保護具の着用（マスク、手袋、保護クリーム）等により、塗料が肌に付着しないようにしてください。かぶれることがあります。
4 防せい性を考慮すると、上塗りにはつや有り塗料をお勧めします。

■現場塗装の一般的注意事項

1 気温5℃以下のときは塗装を避けてください。気温が低くなりますと乾燥が非常に遅くなります。低温時に塗装する場合は加温対策が必要です。（気温15～30℃の範囲が良好です）
2 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって塗膜の乾燥造膜が悪くなり、期待する塗膜性能を発揮できないことがあります。（40～70%RHが良好です）
3 被塗面に結露がある時は塗装を避けてください。（特に朝夕の結露には注意してください）
4 塗装後2時間以内に降雨、降雪が予想される場合は塗装を避けてください。
5 強風、砂ぼこりが多いときは塗装を避けてください。砂塵、海塩粒子などが塗装中、乾燥後に付着すると塗膜性能低下、仕上がり不良となります。
6 炎天下で鋼材が焼けているときは塗装を避けてください。鉄面の温度が高いときは塗膜が発泡する恐れがあります。
7 開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものは出来るだけ早く使用してください。
8 塗料は使用する前に十分にかきまぜ均一な状態にしてください。多液形塗料の場合は、混合比に十分注意し、所定の割合で混合し均一になるまで十分に撹拌してください。また、小出しする場合は、必ずはかりを用い、正しい混合比で計量混合してください。
9 希釈率、塗り重ね時間などは、規定の数値を厳守してください。
10 さげ缶に小分けするときは、十分にかきまぜたものを小分けし、使用するさげ缶はきれいなものを使ってください。
11 残った塗料は常にフタをしてしっかりと密閉してください。
12 ドアのゴムパッキングやプラスチックなど、可塑剤を多く含むものには直接触れる箇所への塗装は避けてください。
13 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ず保管し、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
14 はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗付量、表面肌が異なるため若干の色相差が出ますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。

■塗料の一般的取り扱い注意事項

1 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に避けてください。
2 塗料の保管は、直射日光や雨風を避け、屋内倉庫に貯蔵・管理することが必要です。
3 塗装時および塗料取扱い時は換気を十分に行ってください。
4 使用した塗装器具等は、直ちに水洗洗浄し、洗浄水は適正に処理してください。
5 塗料には化学物質が含まれています。塗装直後の引渡しの場合は、安全性に十分注意を払い、立看板などでペンキ塗りたてである旨を表示し、化学物質過敏症やアレルギー体質などの方が接することの無いようにしてください。

■緊急時および応急処置

1 目に入った場合は、直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、できるだけ早く医師の手当てを受けてください。
2 皮膚に付着した場合は、石けん水で良く洗い落とし、痛みまたは外観に変化がある時は、できるだけ早く医師の手当てを受けてください。
3 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じて、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後、処理してください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）を参照してください。
※ご不明な点に関しては、弊社お問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング
神東塗料
本　社　〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355（代）　FAX(06)6429-6188（代）

製品に関するお問い合わせ
北海道　☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東　北　☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813
東　京　☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静　岡　☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091
北　陸　☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋　☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大　阪　☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中　国　☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821
四　国　☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108
九　州　☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777
https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。

Z0118AT-1